

取扱説明書

無線接点伝送

EMX-T2

2011年1月

1. 概要

▲ 本装置は、特定小電力無線により、接点のON/OFFを、伝送する装置です。

▲ 本装置は、マスター(親)・スレーブ(子)の仕様があります。

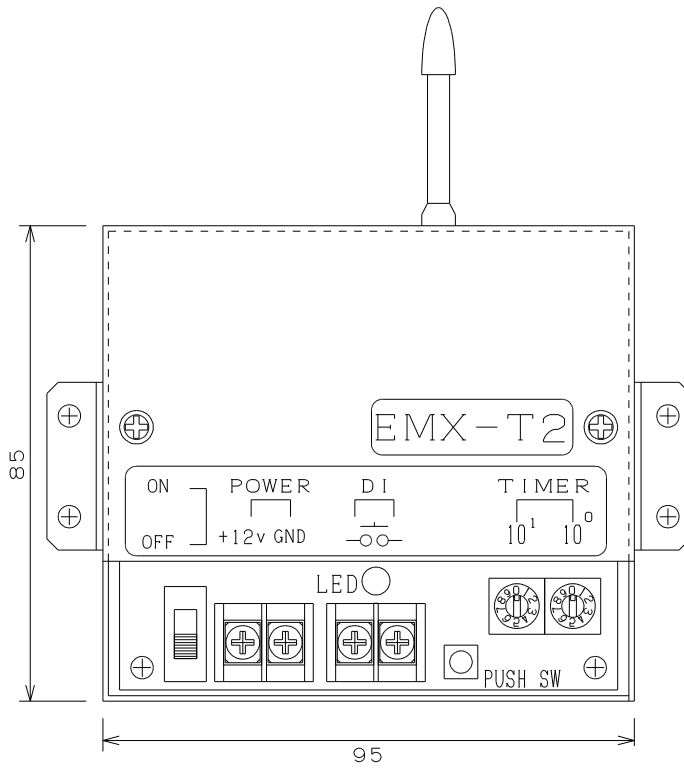
マスター(親)は、入力専用です。スレーブ(子)は、出力専用です。

マスター(親)1台に付、スレーブ(子)は、何台でも接続可能です。

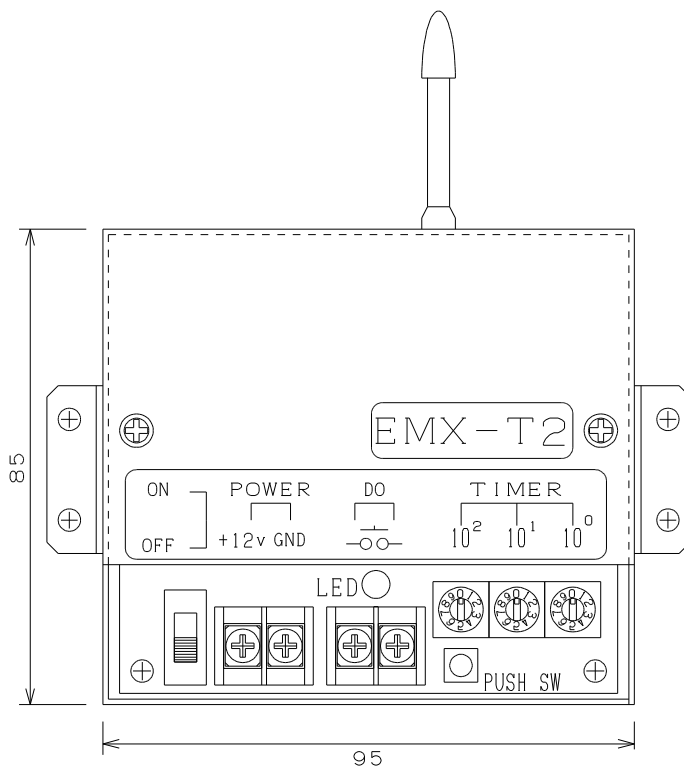
注意 (同じチャンネルに、設定する必要があります。)

▲ 本装置の電源電圧は、DC 1.2V (マイナス接地) で使用します。

2. 外観及び名称



マスター(親)



スレーブ(子)

3. 接続及び機能説明

3-1) 接続

- 1 : 本装置の、前面にあるPOWER端子台には、DC+12V・GNDを接続して下さい。
- 2 : マスター(親)本装置の、前面にあるDI端子台には、無電圧接点入力を、を接続して下さい。
- 3 : スレーブ(子)本装置の、前面にあるDO端子台には、無電圧接点出力を、を接続して下さい。

3-2) 電源スイッチ

ON : 本装置の、電源が入ります。(約1秒間隔で、点灯)

OFF : 本装置の、電源が切れます。

3-3) デジタルディップSW

1) 本装置の右面下

マスター(親)

1 : 接点入力されてから、実際にスレーブ(子)装置へ、情報を送るまでの時間の設定です。(Offデレ)

00~99秒(00の場合、約0.5秒)

遅延時間中、緑色表示灯が早い点滅

送信中、緑色表示灯が点灯、一瞬消灯

スレーブ(子)

1 : マスター(親)装置から情報が届いて、接点がオープンしてからの遅延時間の設定です。(Onデレ)

000~999秒(000の場合、約1秒)

接点クローズ中、赤色表示灯が点灯、一瞬消灯

〈注意1〉全てのスイッチは、電源投入時のみ有効ですので、変更する場合は、電源を一度OFFにして、再投入して下さい。

4. チャンネルの変更

チャンネルは、01～40チャンネルまでです。

親と子は、同じチャンネルでないと、動作しません。

1) 電源SWを、切ります。

2) 設定チャンネルを、デジタルSWで、合わせます。(中位桁、下位桁のみ有効、上位桁目は、無視されま
す。)

00は、01チャンネルに設定されます。41から99までは、40チャンネルに設定されます。

3) PUSH SWを、押しながら、電源SWを、入れます。

LEDが、点灯後、PUSH SW離します。LEDが消灯するのを確認。

PUSH SWを、一度押します。LEDが点滅します。登録終了です。

そのまま、チャンネルを、変更する場合、デジタルSW指定し、PUSH SWを、押すことで、変更
が、可能です。

4) 電源SWを、切ります。再度電源を、入れ直します。

5. 一般的仕様

5-1) 本 体

1 : 外形寸法	W95・H29.2・D21 (突起物を除く)
2 : 動作温度範囲	-10℃～+50℃
3 : 電 源	+12V±15%
4 : 消費電流	最大45mA以下 (無線モジュール送信時) 最小30mA以下 (待受時)
5 : DO-OUT	無電圧接点, 最大100V 120mA以下